

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス いぶき保原				公表日	2026年 3月 10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7名	0	利用定員に対して十分な広さがあり1階、2階で活動が分けられている。	特になし
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7名	0	規定で定められた人数以上の職員が配置されている。	特になし
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7名	0	場所によって何の活動をする場所なのか、分かりやすい構造となっている。階段には手すりの設置、窓には全開にならない様に安全装置がついている。	こども達にとって、活動しやすい空間作りを意識しています。スケジュールや視覚支援が必要な場面があれば日々アップデートしていきたいです。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7名	0	毎日チェックリストを使用し事業所内を清潔に保っています。こども達の活動に合わせて、パーティションを使用し、空間を作れるようになっています。	特になし
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7名	0	こどもの特性やその日の状況に合わせて個別の空間を使用できるようになっています。	クールダウンのお部屋や個別の部屋が少ないですが、パーティションを上手に使用し、空間を分けて使用していきたいです。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7名	0	月に1回事業所内支援会議を行い、全員で目標設定と振り返りを行っています。	特になし
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7名	0	年に1度保護者アンケートを実施し、活動に対してのご意見や意向などを聞く機会を設けています。	貴重なご意見をもとに業務改善を行っていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7名	0	朝のミーティングや帰りの反省会・事業所内支援会議の中で、意見を出し合いその内容を業務改善につなげています。	引き続き毎日のミーティングを継続する。社内で意見が出しやすい雰囲気作りをし、業務改善につなげていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7名	0	会社内の他事業所から活動に対する評価をいただき、業務改善に努めています。	特になし
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7名	0	県主催の研修会や、子ども家庭庁から案内の研修に参加させていただいている。会社主催の研修会にも事業所職員全員参加しました。	優先的に学んだほうが良い分野を決め、積極的に勉強会、研修会に参加し、学んだことを共有する。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7名	0	HPIに支援プログラムの公表をしています。	特になし
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7名	0	モニタリングや計画更新のタイミングで面談を行い、ニーズや課題を一緒に整理し、確認を行っており、その内容をもとに個別支援計画書の作成を行っています。	今後も適切な時期にアセスメントを行い、保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで個別支援計画書に落とし込む。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7名	0	事業所内支援会議に全員参加し、会議で出た意見や支援の手立てをもとに、個別支援計画書を作成している。	今後も児童発達支援管理責任者だけで個別支援計画書を作成するのではなく事業所内の職員全員の意見を反映させ、共通理解の上で検討していきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7名	0	個別支援計画書は支援会議の中で共有され、計画書に基づき日々の支援が行われています。	引き続き事業所内支援会議の中で、個別支援計画書の支援の手立てを職員間で共有します。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7名	0	Jmap・佐賀県教育委員会のアセスメントツールを用いている。	特になし
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7名	0	放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえ、計画書が作成され支援が実施されている。	特になし
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7名	0	朝のミーティングの中で話し合いをし、職員全員で活動内容を立案・決定している。	特になし
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7名	0	前日のプログラムを見直し、改善点、継続する事を考慮し立案している。休日、祝日、長期休みについては平日にできない活動出来るように工夫しています。	こども達が日々楽しみながら活動出来るようにプログラムを検討していきます。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7名	0	こどもの特性やその日の状況に合わせ個別活動と、集団活動がバランスよく行えるように個別支援計画書を作成し、支援が行われている。	個別活動で習得できる事と、集団活動で習得できることは違うので、適宜組み合わせながら支援して行きます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7名	0	朝のミーティングに全員参加し、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	更に活動のねらいや、観察ポイントまで話し合えるようにしていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7名	0	支援終了後には、必ずその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しています。	引き続きその日の活動の振り返りや活動の成果、良かったところなども共有して行く。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7名	0	毎日、こども達の活動の記録を取り、記録をもとに支援の検証、改善に繋げている。	特になし
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7名	0	半年に一度、または必要に応じてモニタリングを行い、PDCAサイクルの流れに沿って、個別支援計画書の見直しが必要を検討している。	引き続き、定期的なモニタリングを通じて、計画の見直しが必要と思われる場合には、保護者、事業所内の職員と検討し見直しを行います。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7名	0	「自立支援・日常生活の充実」「創作活動」「地域交流の機会提供」「余暇活動の提供」を組み合わせ支援が行われています。	引き続き、4つの基本活動を組み合わせ支援を行っていきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7名	0	事業所からの活動提示だけでなく、自分で決める。自分で選ぶ体験の場を提供しています。	特になし
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7名	0	いぶきの児発管が相談支援事業所に赴き支援会議に参加したり、相談支援専門員さんに声をかけ、サービス担当者会議を開催している。	管理者・児童発達支援管理責任者だけでなく支援に携わる職員も参加できるようにしていきたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7名	0	地域の障害福祉課、児童発達支援事業所、地域の小学校、児童クラブと連携し、支援を行う体制を整えている。	本児とかかわりのある機関と情報交換し、連携していけるように、働きかけを行っていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7名	0	利用児童の小学校に問い合わせ、保護者用連絡ツールに登録させていただきました。年間行事や、送迎時間の変更など、保護者からと学校から連絡をいただいています。	新学期に改めて、保護者用の連絡ツールに登録させていただきたい旨をお話しし、学校と情報共有していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7名	0	児童発達支援事業所に見学に行き、活動の様子や支援経過について情報共有させてもらっています。	引き続き、保育園や児童発達支援事業所に出向き、こども達の様子を見学し、先生方と情報共有し、より良い支援が出来るようにしていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7名	0	該当者がいない為、今年度は実施していません。	特になし
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7名	0	必要に応じて、専門的な知識を持った先生にアドバイスをいただき、助言や研修を受けています。	特になし
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7名	0	夏・冬休みに、地域の児童クラブのお友達とコラボ活動を行い、レクリエーションを楽しみました。こども食堂や、地域の遊び場などで一緒に活動する機会があります。	こども達が社会体験できる地域資源や、活動場所を探す。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7名	0	1名が代表として、自立支援協議会や連絡会に参加している。	引き続き自立支援協議会に参加して行きます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7名	0	連絡帳や療育記録を用いたり、送迎時に本日の療育の様子や課題の内容をお話しし、共通理解が図れるようにしている。	児童クラブが送迎場所になっている場合は、親御さんと顔を合わせる機会が少ないので、連絡ノートや電話を活用していきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7名	0	今年度は、保護者様にも参加いただける研修会を企画しご案内させていただきました。今後も共に学べる機会を提供していきたいです。	家族支援について、事業所の中で研修の機会や参加できそうな研修のご案内をしていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7名	0	運営規定・利用者負担額については、契約時に説明を行っています。支援の内容については、日々の送迎時、面談の際に丁寧に説明するように心がけています。	契約時の説明を丁寧に行って行きます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7名	0	半年に一度面談の機会を設けています。その中で本人やご家族の意向を確認しています。	大人の意見（保護者や支援者）だけでなく、子供の意見もしっかり聞いて反映させながらサービスを提供していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7名	0	面談の中で、出来上がった個別支援計画書を説明・確認を行ったうえで同意のサインをいただいています。	引き続き、面談日を設け支援内容の説明・同意をいただきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7名	0	送迎時や、面談の際に子育てのお悩みや、相談がある場合、時間を設け必要な助言と支援を行っている。	特になし

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7名	0	近年、共働きのご家庭も多い事から、全国的に父母の会は廃止傾向にあります。いぶきでも保護者様のご負担を鑑み、父母の会は設置しておりません。研修の参加案内や、保護者同士の交流の機会が作れるように検討中です。	研修機会の立案、保護者同士の交流の場を提供できるように検討する。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7名	0	今年度は苦情はありませんでした。日々、活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。	特になし
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7名	0	いぶき通信を発行し、保護者様にお渡ししています。また、入り口掲示板に貼り、いつでもご覧いただく事が出来ます。他の事業所の活動等もご覧いただけます。	特になし
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7名	0	鍵のかかるロッカーにしまい管理している。お子様の情報は、事業所以外に出さない様、職員の中でも周知・徹底しています。	特になし
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7名	0	連絡ノートや電話など、大事なお知らせはそれぞれの家庭や状況に合わせて対応しています。	特になし
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7名	0	子ども食堂や地域のお祭りや行事など、地域の方々と交流できる機会を作っています。	地域の中で、交流が出来る場所や、資源を探していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7名	0	契約時、モニタリングのタイミングで、事故、災害発生時の避難場所の確認を行っています。規定に基づき避難訓練も行っています。	定期的にマニュアルの見直しを行います。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7名	0	業務継続計画を策定しています。3月に水害、7月10月に火災、8月に地震を想定して訓練を行っています。	年間計画の中に、災害発生をを想定した訓練日を設定いたします。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7名	0	計画更新、モニタリング、通院後に服薬の有無、服薬量の変更確認を行っています。予防接種に関してはフェイスシートに記載していただいています。	特になし
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7名	0	現在食物アレルギーの対象児童はいません。	特になし
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7名	0	安全計画に基づき、安全管理に必要な研修や訓練を行っています。	安全管理に必要な研修や訓練を引き続き行う。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7名	0	安全確保に関して、事業所の入り口にファイルを設置し、閲覧できるようになっています。	安全計画に内容を保護者の方にも周知して行く。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7名	0	事例集を作成し、職員間で共通認識を持っています。追加事例があった場合は、書面に残し共有しています。	特になし
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7名	0	年に1回、社内で虐待防止の研修会を行っています。	虐待防止の意識を職員が持ち、チームで防ぎながら安全に活動できるようにする。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7名	0	身体拘束等適正化検討委員会を設置しています。現在、身体拘束が必要な児童は在籍しておりません。	特になし	